

臨床研究へのご協力のお願い（院内調査）

「老年腫瘍科を受診した消化器がん患者の栄養状態に関する検討」

がん治療中に食欲が落ちたり、体重が減ったりすることを経験された患者さんはたくさんおられると思います。特に化学療法では、使用する抗がん剤によって、食欲不振、味覚障害（嗅覚障害）、口内炎、吐気、便秘、下痢、腹部膨満感など、様々な症状によって食事をとることが困難な場合があります。特に高齢のがん患者さんは、栄養状態が悪化した場合、筋肉量、体重、体力が改善するために長い期間が必要となります。このような「食事や栄養に関する困りごと」がある場合、管理栄養士による栄養指導・栄養相談を行ったり、入院中の食事を食べやすく調整したり、栄養補助食品等を提供する場合があります。

管理栄養士によるこのような対応が、「食事や栄養に関する困りごと」の解消・軽減に対してどの程度効果があったか、患者さんの栄養状態がどのように変化したか、十分に検証することができませんでした。

本研究では、当院において2018年9月～2022年5月の期間に老年腫瘍科を受診し、その後化学療法を行った消化器がん（食道がん、胃がん、小腸がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、メラノーマ）患者さんを対象に、下記の項目について調査をおこないます。

○調査項目

年齢、性別、病名、治療法（抗がん剤の種類）、身長、体重、血液検査

食事の内容・量、リハビリの有無、等

本研究は日常診療で得られた臨床データを集計する研究であり、これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は個人情報を持ち離して、個人が特定されない形で、厳重に扱います。

本研究は九州がんセンター倫理委員会の承認を得ています。皆さんの貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手又は閲覧されたい場合、もしくはご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方は、下記の連絡先までご連絡ください。

【連絡先】

国立病院機構九州がんセンター 栄養管理室

松田 早咲耶

電話：092 541 3231（代表）